

君津市地域おこし協力隊活動報告

隊員名：深山 雅弘

指名日：令和4年11月10日

活動月	令和6年2月
主な活動内容	<ol style="list-style-type: none">1. 君津市小糸の「かぐやの道」計画がスタートしました2. 「清和地区 空き家活用セミナー」開催3. 市民グループ ホームページ開設講習会4. デジタル工作機器（CNC ルーター）ワークショップ

1. 君津市小糸の「かぐやの道」計画がスタートしました

私がお手伝いしている小糸川の竹林を整備する活動をしている「こいとのみこり隊」でステキなアクティビティが始まります。「こいとのみこり隊」が伐採・整備した小糸川沿いの遊歩道に竹をインテリアとして加工した「竹あかり」を設置し、ここを「かぐやの道」として地域の観光スポットにしようというチャレンジです。



竹を使った町おこしは他の地域でも行われていますが、「こいとのきこり隊」では竹の伐採という環境整備活動から竹あかり制作～点灯イベントまでを一連のアクティビティとしているのが特長です。

「こいとのきこり隊」の伐採活動に参加された方は、自分が伐採した竹を「竹あかり」素材としてキープできます。それをきこり隊主催のワークショップで「竹あかり」に加工。できあがった「竹あかり」を皆で整備した遊歩道に設置します。かぐや姫の誕生日といわれている7月7日にアクティビティ参加者全員の「竹あかり」が点灯され、小糸川遊歩道を光輝く「かぐやの道」として一般開放する計画です。



2月3日(土)に「こいとのきこり隊」本拠地である小糸地区行馬のどんど焼きがあり、ここで「かぐやの道」のデモを行いました。「こいとのきこり隊」のメンバーで協力して伐採した竹を加工し、10本ほどの「竹あかり」を制作。どんど焼き会場のあぜ道をやさしく照らしました。地域の人達もたいへん興味をもってくれたのはうれしいですね。小糸・君津以外の地域の方にも是非この活動にご参加いただき、「かぐやの道」オープンの感動を共有できたらいいなと思います。

竹林整備活動で災害に負けないまちづくり - こいとのきこり隊

<https://koitonokikori.com/>



2. 「清和地区 空き家活用セミナー」開催

2024年2月17日（土）『清和地区 空き家活用セミナー』を旧秋元小学校を複合整備し1月にリニューアルオープンした清和地域拠点複合施設「おらがわ」で開催しました。これまで君津地区で行ってきた空き家活用セミナーの内容を凝縮してお伝えしました。

事前の周知が悪かったのか、残念ながら多くの参加者は集まりませんでした。少人数なぶんじっくり時間をかけてお話しできたのはよかったです。清和に限ったことではないですが、田舎の家の特徴として、

- ◎住居が隣接してないので近隣からの苦情になりにくい
- ◎そもそも固定資産税が安いので、そんな負担にならない
- ◎売りに出しても条件が悪いので買い手がつかない
- ◎遠いので、そう頻繁に手入れに通えない
- ◎モノが置きっぱなし、片付けないと売りに売れない

という現状がうかがえます。なので処分に動きださず空き家のまま放置。しかし、今もその地域に住んでいる人にとっては、放置空き家は問題以外のなにものでもないんです。では、どのように処分したらいいのでしょうか？



不動産サイトに登録できるのは売り物として使えるのだけ、壊れたままや家財が残っている物件は扱ってくれません。かといって費用をかけてリフォームしても希望価格で売れる



と限らない。リフォーム代を回収するため売値を高くしたら買い手はつかない。悪循環ですね。

君津市の空き家は令和元年の台風 15 号で被害を被り、それをきっかけに空き家のままというケースが多いです。そのような家は修繕しないまま空き家にしていたため傷んでいるものが多い。しかし、あきらめないでください。その現状でも欲しいという人はきっと現れます。

- ◎ウチはボロだから・・・
- ◎田舎でまわりになんにもない・・・
- ◎交通が不便だから・・・

あえてそういう家を好んで探している人は一定数います。情報を積極的にだしていけば、そういう買い手（借り手）と巡りあえる。しかし、不動産サイトではそのような家はなかなか取り扱ってくれず、情報発信の手段がありません。

私がお手伝いしているコミュニティ清和で 3 月に、首都圏在住の移住を検討しているご家族に向けて清和の空き家をご案内する「清和地区 空き家内覧ツアー」を実施します。単なる物件の内覧だけでなく、地域住民との懇親会をセットにし、地域での暮らしぶりを紹介し移住生活の不安を解消。移住後すみやかに地域に馴染むようお手伝いするイベントです。

観光ガイドブックや自治体広報では分からないリアルな田舎暮らしを学習できます。その地域を知り、好きになって移住してもらおう企画。すでに第 1 回は定員となってしまいましたが、今後も継続して開催していく予定ですので、ご興味ある方はコミュニティ清和のホームページからコンタクトしてくれるとうれしいです。

君津市清和地区 空き家活用セミナー

https://movetokimitsu.jp/seminar_20240217/

むらをつくる。むらをまもる。いつまでも。 - コミュニティ清和

<https://seiwa-town.com/>

3. 市民グループ ホームページ開設講習会

1 月にリリースした、君津で活動する市民グループが無料で情報発信できるポータルサイト『きみこむ』の操作講習会を君津地区（生涯学習センター）と清和地区（おらがわ）の 2 カ



所で開催しました。計8つの市民グループが各自持ち込んだパソコンでホームページ制作を学びました。



参加者のパソコンスキルがまちまちなのと、2時間という限られた時間のなかでしたので、十分な説明ができたか怪しいですが、間違えたら消せばいいし、いつでも修正できるので、臆せずどんどん情報発信にチャレンジしてくれればと思います。

おそらくやりながら「もっとこうしたい」「こんなことはできないの?」と疑問や要望があがってくると思いますので、今後はオンラインでのフォローアップ講習を定期的で開催していくつもりです。

まだ「きみこむ」のアカウントを持っていない団体はこの機会に登録申請してくださいね。君津市在住でなくとも君津で活動するグループなら OK です。皆さんのチカラで君津を元気に、住みやすい街にしていきましょう!

君津で活動する市民グループポータルサイト「きみこむ」

<https://kimicomm.com/>



4. デジタル工作機器（CNC ルーター）ワークショップ

ファブラボ (FabLab) という言葉を聞いたことありますか？ ファブラボとは、Fabrication（ものづくりの Fab）と Fabulous（楽しい・愉快的な Fab）がかけあわされた造語で、デジタルからアナログまでの多様な工作機械を備えた実験的な市民工房のネットワークで、個人による自由なものづくりの可能性を拡げ、「自分たちの使うものを、使う人自身がつくる文化」を醸成することを目指しているものです。

2024 年 1 月に旧秋元小学校を複合整備しリニューアルオープンした清和地域拠点複合施設「おらがわ」工芸室にコンピューター制御で自在に木工加工できるデジタル工作機器（CNC ルーター）が導入されました。CNC とは、コンピューター数値制御（Computer Numerical Control）の略で、回転している工具（ドリル）をコンピューターの指令によって動かし、自動で木材の切断や彫刻する機械。ファブラボの主要マシンのひとつです。



大量生産・大量消費によるものづくりは工場の大型工作機によるものでした。技術の進歩により工場で使われていた機械が小型・安価になり、個人が気軽にものづくりに参入できる環境ができつつあります。「おらがわ」に導入された CNC ルーターはその機械のひとつ。これまでものづくりに携わっていなかった個人でも自由に高度なものづくりに参入することが可能になります。



君津市では地域資源の活用や地域課題解決へのデジタル技術の活用と、地域の特徴を生かしたものづくりやフリーランス型のビジネス創業・商品づくりを促進しています。その最初の試みとして、CNC ルーターの可能性をレビューするワークショップを私が担当デスクとして開催しました。

清和にはたくさんの森林資源があります。本ワークショップは、清和の森林資源を利用した清和ならではの木工作品を、ここ「おらがわ」から発信することで、地域に新しいイノベーションや経済、新しい働き方を生み出していこうという試みの第1歩になります。

まずはコミュニティ清和オフィスにて CNC ルーターとはどんなものかの説明と製作手順の解説。続いて工芸室に移動し、実際に CNC ルーターが木材を削る実演を見ていただきました。最後にコミュニティ清和オフィスに戻り、自分ならなにを作りたいかの意見交換を行いました。



まだファブラボという形にはほど遠いですが、現役美大生やアルミ鍛造でものづくりしているプロの方にもご参加いただき、清和からファブなクリエイティブが生まれ、広がっていく可能性を感じました。来年度は参加者による実際のものづくりに着手予定、どんな作品が生まれるか楽しみにお待ちしております。

FabLab Japan Network

<http://fablabjapan.org/>

